

5 概 況

水道事業会計の業務実績を見ると、当年度の給水人口は40,324人で前年度比616人の減、給水区域内普及率は96.8%で前年度比0.1ポイント減となっている。有収率は79.0%で前年度比0.5ポイント増となっている。また、施設利用率は54.7%、最大稼働率は66.7%となっている。

詳細については、「6 業務実績について」に記述している（P3～4）。

経営成績を見ると、当年度純利益は120,397,667円で前年度と比較して15,607,761円（11.5%）の減となっている。この主な要因は、特別損失の増によるものである。

詳細については、「7 経営成績について」に記述している（P5～8）。

財政状況を見ると、資産は流動資産の未収金の減により、前年度と比較して18,252,592円（0.1%）の減となっている。また、負債は企業債等の減により、前年度と比較して238,213,954円（3.0%）の減となっており、資本は純利益の計上、他会計からの出資等により219,961,362円（5.0%）の増となっている。

詳細については、「8 財政状況について」に記述している（P9～14）。

給水収益の収入状況を見ると、現年度分の収入率は98.7%で、繰越分の収入率は51.7%となっている。

詳細については、「9 収入状況について」に記述している（P15）。